

# 出産場所選択要因に関する研究

塚本 絵美\*, 杉浦 絹子\*\*

## Abstract

In order to (a) determine what factors influence women's choice of birthing institution, (b) evaluate their satisfaction with the institutions, and (c) explore what obstetric care services are required, we asked 92 mothers of infants to complete an anonymous self-administered questionnaire. We found the following:

- Respondents stated that “own experience and recommendations from others” were the most important factors in their selection of a birthing site.
- More than 90% of respondents had a positive opinion of the institution where their baby was delivered. Opinions varied more for specialized hospitals and clinics of obstetrics and gynecology than for departments of obstetrics and gynecology at general hospitals.
- The mean satisfaction score was highest for birthing centers, followed by specialized hospitals and clinics of obstetrics and gynecology, and then departments of obstetrics and gynecology at general hospitals. Again, the satisfaction scores varied more for specialized institutions than for departments at general hospitals.
- In total, more than 70% of respondents indicated that they would choose the same institution again if they were to have another baby.
- Respondents gave the highest priority to “reputation of obstetric care providers” in selecting birthing sites in the future.
- Analysis of respondents' responses to a free-answer question regarding their opinions on and requests to obstetric care professionals revealed two categories of factors that influence the choice of birthing site: “requests to health-care professionals” and “maternity issues.” These categories were subdivided into the following ten subcategories: “reliable relationships,” “quality of care,” “attitudes of care professionals,” “relief of anxiety and mental health care,” “informed consent,” “care service systems,” “respect for the wishes of expecting mothers,” “relief of parenting stress and anxiety,” “criticism of excessive focus on improvements in facilities and non-medical services,” and “disgust for ‘medicalized’ childbirth.” The majority of opinions and requests were classified into the subcategory of “attitudes of care professionals.”

These results indicate that it is important for obstetric care professionals to pursue improvements in quality of care, and to establish systems for doing so, as well as encouraging caring attitudes by health care staff, without focusing excessively on improvements in facilities and non-medical services.

**Key Words:** birth, birthing site, factors influencing women's choice

---

\* 名古屋医療センター附属看護助産学校 助産科

\*\* 三重大学医学部看護学科

## I. 緒 言

近年、日本社会の少子化は抑止できない状況となっており、平成15年の合計特殊出生率は1.29と過去最低を記録し、翌平成16年も同率となっている。そのような中で、人生の中で1度か2度の出産体験を満足のいくものにするために、妊娠・出産に主体的に取り組む女性が増加し、特に自然出産を求める声が多くなってきている<sup>1) 2)</sup>。

このような主体的な自然出産を望む声の高まりに伴って、自宅出産、助産所出産を選択する者も増加しつつある<sup>3)</sup>。また、出産様式も海外から導入されて30年以上も経つラマーズ法に加え、近年はソフロロジー法、アクティブバース、水中出産など多岐にわたるようになった。さらに、産科施設間では減少しつつある出産を獲得するための競争がみられるようになり、顧客を惹きつける経営戦略として、豪華な設備、魅力的な食事、記念品贈呈、美容マッサージなどのエクストラサービスも工夫が凝らされるようになってきている。

このように出産様式や提供されるサービスが多様になる中、①妊産婦はどのような要因によって出産場所を選択しているのだろうか。そして、②選択した出産場所をどう評価し、③経験した出産に満足しているのだろうか。また、④次回出産するとしたらどこで出産したいと希望し、それはどのような理由によるのだろうか。本研究では、以上のことを明らかにしつつ、⑤産科領域の医療者に求められていることは何かについて考察することを目的とした。

関連する先行研究では、顧客満足度に影響する出産サービスの構成因子の検討<sup>4)</sup>や出産の満足に関連する要因の探索<sup>5)</sup>、出産体験の評価を良好にするために必要な援助の探索<sup>6) 7) 8)</sup>や出産体験の評価の初産婦と経産婦間の比較<sup>9)</sup>、出産の満足と出産のイメージとの関連の検討<sup>10)</sup>、助産所での出産を選んだ要因の調査<sup>11)</sup>などが行われている。しかし、出産場所選択要因を産科領域の評価ならびに出産満足と関連づけて検討した研究は見当たらない。

## II. 研究方法

### 1. 調査対象

2004年7月～9月の間に、愛知県O町保健センターにおいて毎月1回ずつ行われている3～4か月児健診と9～10か月児健診に訪れた乳児の母親92名を対象とした。

### 2. 方法

先行研究、文献を参考に自記式質問紙を作成した。O町母子保健担当の保健師に質問内容の妥当性について意見をもらうとともに、乳児あるいは幼児を持つ母親6名にプリテストを実施し、表現の適切さと理解のしやすさについて意見をもらい、質問項目を修正した。本調査は、O町保健センターにおいて集団指導の場を借りて、調査票受け取りの同意の得られた乳児の母親に質問紙を配布し、郵送法により回収を行った。

#### 1) 質問紙の構成

質問紙は、対象者の属性、今回の出産場所、今回の出産場所選択理由、出産場所の評価、出産の満足度、次回希望出産場所と選択理由を問う質問項目、および産科領域の医療者に対する意見・感想・要望についての自由記述欄で構成した。出産場所選択理由については、深見<sup>12)</sup>が妊婦がお産選びのポイントとして挙げている項目、中野ら<sup>3)</sup>が満足度に関連すると報告していた要因、および江守ら<sup>6)</sup>の分娩体験の評価に関する分析、ならびに研究者の親族・友人・知人の出産体験談や書籍・雑誌、インターネット上の情報を参考にして作成した。

質問項目は以下のような回答形式とした。

今回の出産場所ならびに次回の希望出産場所：①総合病院、②産婦人科単科の病院・診療所、③助産所、④自宅、⑤その他、から択一回答

出産場所の評価：①大変良かった、②まあまあ良かった、③あまり良くなかった、④悪かった、から択一回答。①と②を肯定的評価、③と④を否定的評価とした。

出産の満足度：10点満点で0～10点の点数を記入

今回の出産場所選択理由、ならびに次回出産希望場所の選択理由：①出産方法、②設備・一般サービス、③アクセス、④医療者、⑤エクストラ・サービス、⑥経験・他者の評価 ⑦安全性 ⑧育児援助 ⑨費用、⑩その他、から複数回答

加えて、最も優先する選択理由を空欄に記入

産科領域の医療者に対する意見・感想・要望：自由記述欄に記述

#### 2) 分析方法

定量的データの集計・分析にあたっては統計解析ソフトSPSS J 10.0 for Windowsを用い、単純集計、クロス集計を行った。

産科領域の医療者に対する意見・感想・要望についての自由記述回答は、以下のような手順で質的帰納的に分析を行った。記述された内容の意味上まとまりのある文節、文、あるいは文章を分析単位として、その主題に基づいてカテゴリー化を行った。まず記述の意味内容について簡潔に表現する語を書き出すコーディングを行い、次に意味内容の類似性に従ってサブカテ

ゴリーを作成した。さらにサブカテゴリーを分類してカテゴリーを作成した。

3) 倫理的配慮

調査票の表紙に、調査の趣旨、研究参加は自由意思に基づくこと、回答は無記名であること、集団単位で分析すること、学術目的以外には使用しないこと、疑問や不明な点にはいつでも回答すること、研究者以外には回収された調査票に触れることはないこと、研究終了後に調査票は適切に処理すること、疑問や不明な点にはいつでも答えることを明記し、研究者の連絡先を付記した。

調査票配布にあたっては、口頭で上記のことを説明し、調査票の受け取りの同意の得られた対象に配布した。

III. 結果

1. 回収率

207名に調査票を配布し、92名から回収され(回収率44.4%)、全て分析対象とした。

2. 対象者の属性・背景 (表1)

対象は、初産婦40名(43.5%)、経産婦52名(56.5%)で、平均年齢は初産婦29.4±3.6歳、経産婦31.6±3.3歳であった。対象の職業は、専業主婦72名

(78.3%)、フルタイム勤務8名(8.7%)、パートタイム勤務10名(10.9%)、自営業2名(2.2%)であった。

3. 今回の出産場所の評価 (表2) と出産の満足度 (表3)

今回の出産場所は、「総合病院」は30名(32.6%)で、初産婦12名、経産婦の18名であった。「産婦人科単科の病院・診療所」は61名(66.3%)で、初産婦28名、経産婦33名であった。「自宅」は1名

表1 対象の属性・背景

|    |          | 全体 n:92   |           |           |
|----|----------|-----------|-----------|-----------|
|    |          | n (%)     | 初産婦 n:40  | 経産婦 n:52  |
| 年齢 | 平均年齢(歳)  | 30.6±3.6  | 29.4±3.6  | 31.6±3.3  |
|    | ～19      | 1 (1.1)   | 1 (2.5)   | 0 (0.0)   |
|    | 20～24    | 3 (3.3)   | 2 (5.0)   | 1 (1.9)   |
|    | 25～29    | 23 (25.0) | 13 (32.5) | 10 (19.2) |
|    | 30～34    | 50 (54.3) | 22 (55.0) | 28 (53.8) |
|    | 35～39    | 13 (14.1) | 2 (5.0)   | 11 (21.2) |
| 職業 | 専業主婦     | 72 (78.3) | 31 (77.5) | 41 (78.8) |
|    | フルタイム勤務  | 8 (8.7)   | 5 (12.5)  | 3 (5.8)   |
|    | パートタイム勤務 | 10 (10.9) | 4 (10.0)  | 6 (11.5)  |
|    | 自営業      | 2 (2.2)   | 0 (0.0)   | 2 (3.8)   |

年齢無回答1名

表2 今回の出産場所と出産場所の評価

人(%) 有効回答 n:92

| 評価        | 全体 n:92  |          |          | 総合病院 n:30 |          |          | 産婦人科単科の病院・診療所 n:61 |          |          | 自宅 n:1 |         |         |
|-----------|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|--------------------|----------|----------|--------|---------|---------|
|           | 全体 n:92  | 初産婦 n:40 | 経産婦 n:52 | 全体 n:30   | 初産婦 n:12 | 経産婦 n:18 | 全体 n:61            | 初産婦 n:29 | 経産婦 n:32 | 全体 n:1 | 初産婦 n:0 | 経産婦 n:1 |
| 大変良かった    | 40(43.5) | 19(47.5) | 21(40.4) | 11(36.7)  | 5(41.7)  | 6(33.3)  | 28(45.9)           | 14(48.3) | 14(43.8) | 1(100) | 0(0.0)  | 1(100)  |
| まあまあ良かった  | 47(51.1) | 16(40.0) | 31(59.6) | 19(63.3)  | 7(58.3)  | 12(66.7) | 28(45.9)           | 10(34.5) | 18(56.3) | 0(0.0) | 0(0.0)  | 0(0.0)  |
| あまり良くなかった | 5(5.4)   | 5(12.5)  | 0(0.0)   | 0(0.0)    | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 5(8.2)             | 5(17.2)  | 0(0.0)   | 0(0.0) | 0(0.0)  | 0(0.0)  |
| 悪かった      | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)    | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)             | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0) | 0(0.0)  | 0(0.0)  |

表3 出産の満足度の平均得点と回答分布

人(%) 有効回答 n:89

| 出産場所      | 得点(点)              | 5      | 6      | 7      | 8        | 9        | 10       | 平均得点 M±SD |
|-----------|--------------------|--------|--------|--------|----------|----------|----------|-----------|
|           | 産婦人科単科の病院・診療所 n:60 |        | 4(6.7) | 1(1.7) | 5(8.3)   | 19(31.7) | 14(23.3) |           |
| 自宅 n:1    |                    | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0) | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 1(100.0) | 10±0.0    |
| 総合病院 n:28 |                    | 2(7.1) | 0(0.0) | 2(7.1) | 15(53.6) | 4(14.3)  | 5(17.9)  | 8.2±1.3   |
| 全体 n:89   |                    | 6(6.7) | 1(1.1) | 7(7.9) | 34(38.2) | 18(20.2) | 23(25.8) | 8.4±1.4   |

(1.1%)で経産婦であった。

今回の出産場所の評価は、全体では「大変良かった」が43.5%、「まあまあ良かった」が51.1%と、両者合わせて94.6%が肯定的評価をしていた。「悪かった」と評価した者はいなかった。自宅を出産した1名は、「大変良かった」と評価していた。総合病院と産婦人科単科の病院・診療所を比較すると、「大変良かった」と評価した者の割合は、総合病院36.7%に比べ、産婦人科単科の病院・診療所では45.9%と9%余り高かった。一方、「あまり良くなかった」と回答した5名(5.4%)は、全員産婦人科単科の病院・診療所での出産で、初産婦であった。

今回の出産の満足度得点は全体では8.4±1.4点で、経産婦(8.6±1.2点)は初産婦(8.3±1.4点)よりも高かった。最小値は5点、最大値は10点であった。また、出産場所別では自宅は1名で10点、産婦人科単科の病院・診療所8.5±1.4点、総合病院8.2±1.3点の順であった。回答分布をみると、総合病院は回答の53.6%が8点に集中しているのに対し、産婦人科単科の病院・診療所では最頻値の8点は31.7%であり、得点が分散していた。

#### 4. 今回の出産場所選択と出産場所選択要因

複数回答形式による今回の出産場所選択理由の回答(表4)をみると、「医療者に対する評価」が最も多く、次いで「アクセス」「育児援助」「出産方法」「経験・他者の評価」「設備・一般サービス」と続き、いずれも80%以上の者が選択していた。

今回の出産場所選択理由として最優先したものの回答(表5)をみると、全体では、「経験・他者の評価」(25.3%)、「設備・一般サービス」(20.7%)、「アクセス」(18.4%)の順に多く、初産婦・経産婦いずれにおいても「経験・他者の評価」(初産婦29.7%、経産婦22.0%)は最多であった。初産婦では次に「アクセス」(18.9%)、「設備・一般サービス」(18.9%)が同率で続き、経産婦では最多の項目がもう1つあり、「設備・一般サービス」(22.0%)であった。次に多かった項目も2つ同率であり、「医療者に対する評価」(10.8%)と「アクセス」(10.8%)であった。

#### 5. 今回の出産場所別の出産場所選択要因

今回の出産場所別に出産場所選択理由として最優先したものの回答のうち(表5)、総合病院で出産した群で最も多かったものは「経験・他者の評価」で、41.4%の者が選択していた。一方、産婦人科単科の病院・診療所での出産した群では、総合病院群では選択した者がいなかった「設備・一般サービス」で、31.6%

の者が選択していた。自宅出産をした1名の選択理由は「出産方法」であった。

#### 6. 次回の出産希望場所

回次の希望出産場所の回答をみると(表6)、全体の70.7%(65名)が次回も同じ施設での出産を希望していた。今回の出産場所別にみると、産婦人科単科の病院・診療所出産群では72.1%、総合病院出産群では70.0%が今回と同じ施設を希望していた。今回産婦人科単科の病院・診療所での出産した者のうち2名が次回は助産所で、1名は自宅での出産を希望していた。今回自宅出産をした1名は次回も自宅出産を希望していた。

出産場所の評価で「あまり良くなかった」と回答した5名は全員産婦人科の単科の病院・診療所での出産していたが、このうち4名は次回は総合病院を、1名は今回とは違う産婦人科の単科の病院・診療所を希望していた。

#### 7. 次回の出産希望場所と出産場所選択要因

回次の希望出産場所の選択理由として最優先するものの回答(表7)をみると、全体では「医療者に対する評価」(22.9%)が最も多く、次いで「出産方法」(20.5%)「アクセス」(19.3%)「設備・一般サービス」(16.9%)の順であった。初産婦では全体と同様「医療者に対する評価」(21.6%)が最も多く、次いで「アクセス」(18.9%)、「出産方法」(16.2%)と「設備・一般サービス」(16.2%)が同数で続いていた。経産婦では「医療者に対する評価」(23.9%)と「出産方法」(23.9%)が同率で最多であり、次に「アクセス」(19.6%)であった。

自宅出産を希望する者は、今回の出産場所選択理由と同様「出産方法」であった。総合病院での出産を希望する者の選択理由で最多のものは「医療者に対する評価」(26.9%)で、次いで「アクセス」(23.1%)、「経験・他者の評価」(19.2%)であった。産婦人科単科の病院・診療所では「出産方法」(23.2%)と「設備・一般サービス」(23.2%)が同率で最多で、次に「医療者に対する評価」(21.4%)であった。

#### 8. 産科領域の医療者に対する意見・感想・要望(表8)

産科領域の医療者に対する意見・感想・要望についての46名の記述内容に関して、主題に基づいて分類した結果、「信頼関係」「ケアの質」「医療者の姿勢」「不安の軽減・精神的ケア」「インフォームド・コンセント」「ケアシステム・体制」「育児不安の軽減」「産

表4 今回の出産場所選択理由

有効回答 n : 92

| 理由   | n (回答率%)               | 全体<br>n (%) n : 92 | 初産婦<br>n (%) n : 40 | 経産婦<br>n (%) n : 52 |
|--|------------------------|--------------------|---------------------|---------------------|
| 出産方法<br>n : 82<br>(89.1%)                    | 自然分娩                   | 60(65.2)           | 26(65.0)            | 34(65.4)            |
|  | ラマーズ法                  | 21(22.8)           | 6(15.0)             | 15(28.8)            |
|  | ソフロロジー法                | 4(4.3)             | 1(2.5)              | 3(5.8)              |
|  | アクティブ・パース              | 1(1.1)             | 0(0.0)              | 1(1.9)              |
|  | 立会い出産                  | 35(38.0)           | 17(42.5)            | 18(34.6)            |
|  | 無痛分娩                   | 8(8.7)             | 2(5.0)              | 6(11.5)             |
|  | 医療的処置                  | 6(6.5)             | 1(2.5)              | 5(9.6)              |
|  | 帝王切開・吸引分娩              | 12(13.0)           | 7(17.5)             | 5(9.6)              |
|  | その他                    | 12(13.0)           | 8(20.0)             | 4(7.7)              |
| 設備・一般サービス<br>n : 76<br>(82.6%)               | 完全個室                   | 55(59.8)           | 24(60.0)            | 31(59.6)            |
|  | 部屋が美しい                 | 41(44.6)           | 18(45.0)            | 23(44.2)            |
|  | 快適                     | 30(32.6)           | 12(30.0)            | 18(34.6)            |
|  | 豪華                     | 9(9.8)             | 3(7.5)              | 6(11.5)             |
|  | 清潔                     | 32(34.8)           | 16(40.0)            | 16(30.8)            |
|  | 医療機器が充実                | 12(13.0)           | 5(12.5)             | 7(13.5)             |
|  | 食事                     | 45(48.9)           | 19(47.5)            | 26(50.0)            |
|  | LDR                    | 6(6.5)             | 2(5.0)              | 4(7.7)              |
|  | 家族の宿泊                  | 22(23.9)           | 10(25.0)            | 12(23.1)            |
|  | プレイルーム・託児コーナー          | 13(14.1)           | —                   | 13(25.0)            |
|  | その他                    | 11(12.0)           | 4(10.0)             | 7(13.5)             |
| アクセス<br>n : 84<br>(91.3%)                    | 自宅・実家から近い              | 70(76.1)           | 32(80.0)            | 38(73.1)            |
|  | 交通の便が良い                | 20(21.7)           | 5(12.5)             | 15(28.8)            |
|  | その他                    | 10(10.9)           | 6(15.0)             | 4(7.7)              |
| 医療者に対する評価<br>n : 87<br>(94.6%)               | 親切                     | 79(85.9)           | 34(85.0)            | 45(86.5)            |
|  | 知識・技術レベル               | 23(25.0)           | 12(30.0)            | 11(21.2)            |
|  | 人数                     | 29(31.5)           | 16(40.0)            | 13(25.0)            |
|  | その他                    | 26(28.3)           | 14(35.0)            | 12(23.1)            |
| 妊娠・出産に関する<br>エクストラ・サービス<br>n : 60<br>(65.2%) | マタニティピクス・マタニティヨガ・スイミング | 19(20.7)           | 6(15.0)             | 13(25.0)            |
|  | マッサージ                  | 27(29.3)           | 12(30.0)            | 15(28.8)            |
|  | 入院準備品                  | 26(28.3)           | 16(40.0)            | 10(19.2)            |
|  | お祝い品                   | 25(27.2)           | 5(12.5)             | 20(38.5)            |
|  | その他                    | 11(12.0)           | 3(7.5)              | 7(13.5)             |
| 経験・他者の評価<br>n : 80<br>(87.0%)                | 前回出産の自分の経験             | 25(27.2)           | —                   | 25(48.1)            |
|  | 周りからの評価                | 39(42.4)           | 24(60.0)            | 15(28.8)            |
|  | 印象                     | 32(34.8)           | 15(37.5)            | 17(32.7)            |
|  | その他                    | 4(4.3)             | 2(5.0)              | 2(3.8)              |
| 安全性<br>n : 34<br>(37.0%)                     | 前回異常分娩だった              | 12(13.0)           | —                   | 12(23.1)            |
|  | 妊娠経過中に異常があった           | 9(9.8)             | 2(5.0)              | 7(13.5)             |
|  | 持病がある                  | 1(1.1)             | 0(0.0)              | 1(1.9)              |
|  | その他                    | 12(13.0)           | 7(17.5)             | 5(9.6)              |
| 育児援助<br>n : 84<br>(91.3%)                    | 母乳栄養                   | 54(58.7)           | 19(47.5)            | 35(67.3)            |
|  | 希望に沿ってミルク              | 34(37.0)           | 16(40.0)            | 18(34.6)            |
|  | 母子同室                   | 62(67.4)           | 27(67.5)            | 35(67.3)            |
|  | 母子別室                   | 18(19.6)           | 8(20.0)             | 10(19.2)            |
|  | その他                    | 17(18.5)           | 8(20.0)             | 9(17.3)             |
| 費用<br>n : 45<br>(48.9%)                      | 安価                     | 19(20.7)           | 5(12.5)             | 14(26.9)            |
|  | 平均的                    | 9(9.8)             | 5(12.5)             | 4(7.7)              |
|  | その他                    | 27(29.3)           | 11(27.5)            | 16(30.8)            |
| その他  | n : 9 (9.8%)           | 9(9.8)             | 4(10.0)             | 5(9.6)              |

婦の主体性の尊重」「医療介入化された出産への嫌悪」「設備・一般サービス改善への偏向に対する批判」というサブカテゴリーに分類された。これらはその意味内容に基づき統合され、「医療者への要望」と「出産

のあり方」の2つのカテゴリーに分類された。サブカテゴリーの中で「医療者の姿勢」に関する意見が19名(41.3%)と最も多く、以下「不安の軽減・精神的ケア」12名(26.1%)、「インフォームド・コンセント」

表5 今回の出産場所選択理由のうち最優先したもの

人(%) 有効回答 n: 87

| 理由         | 対象全体 n: 87 |           |           | 総合病院     |           |           | 産婦人科単科の病院・診療所 |           |           | 自宅       |          |          |
|------------|------------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|---------------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
|            | 全体 n: 87   | 初産婦 n: 37 | 経産婦 n: 50 | 全体 n: 29 | 初産婦 n: 12 | 経産婦 n: 17 | 全体 n: 57      | 初産婦 n: 24 | 経産婦 n: 33 | 全体 n: 1  | 初産婦 n: 0 | 経産婦 n: 1 |
| 医療者に対する評価  | 13(14.9)   | 4(10.8)   | 9(18.0)   | 4(13.8)  | 0(0.0)    | 4(23.5)   | 9(15.8)       | 4(16.7)   | 5(15.2)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   |
| 出産方法       | 10(11.5)   | 4(10.8)   | 6(12.0)   | 1(3.4)   | 0(0.0)    | 1(5.9)    | 8(14.0)       | 4(16.7)   | 4(12.1)   | 1(100.0) | 0(0.0)   | 1(100.0) |
| アクセス       | 16(18.4)   | 7(18.9)   | 9(18.0)   | 6(20.7)  | 3(25.0)   | 3(17.6)   | 10(17.5)      | 4(16.7)   | 6(18.2)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   |
| 設備・一般サービス  | 18(20.7)   | 7(18.9)   | 11(22.0)  | 0(0.0)   | 0(0.0)    | 0(0.0)    | 18(31.6)      | 7(29.1)   | 11(33.3)  | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   |
| 経験・他者の評価   | 22(25.3)   | 11(29.7)  | 11(22.0)  | 12(41.4) | 7(58.3)   | 5(29.4)   | 10(17.5)      | 4(16.7)   | 6(18.2)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   |
| エクストラ・サービス | 0(0.0)     | 0(0.0)    | 0(0.0)    | 0(0.0)   | 0(0.0)    | 0(0.0)    | 0(0.0)        | 0(0.0)    | 0(0.0)    | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   |
| 育児援助       | 3(3.4)     | 1(2.7)    | 2(4.0)    | 2(6.9)   | 0(0.0)    | 2(11.8)   | 1(1.8)        | 0(0.0)    | 1(3.0)    | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   |
| 安全性        | 3(3.4)     | 1(2.7)    | 2(4.0)    | 3(10.3)  | 1(8.3)    | 2(11.8)   | 0(0.0)        | 0(0.0)    | 0(0.0)    | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   |
| 費用         | 2(2.3)     | 2(5.4)    | 0(0.0)    | 1(3.4)   | 1(8.3)    | 0(0.0)    | 1(1.8)        | 1(4.2)    | 0(0.0)    | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   |
| その他        | 0(0.0)     | 0(0.0)    | 0(0.0)    | 0(0.0)   | 0(0.0)    | 0(0.0)    | 0(0.0)        | 0(0.0)    | 0(0.0)    | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   |

表6 今回の出産場所別次回の希望出産場所

人(%) 有効回答 n: 92

| 今回                | 総合病院      |            | 産婦人科単科の病院・診療所 |            | 助産院    | 自宅       |
|-------------------|-----------|------------|---------------|------------|--------|----------|
|                   | (今回と同じ施設) | (今回とは違う施設) | (今回と同じ施設)     | (今回とは違う施設) |        |          |
| 総合病院 n: 30        | 22(73.3)  | 1          | 8(26.7)       |            | 0(0.0) | 0(0.0)   |
| 産婦人科の病院・診療所 n: 61 | 4(6.6)    |            | 44            | 11         | 1(1.6) | 2(3.3)   |
| 自宅 n: 1           | 0(0.0)    |            | 0(0.0)        |            | 0(0.0) | 1(100.0) |

表7 次回の出産場所選択理由のうち最優先するもの

人(%) 有効回答 n: 83

| 理由         | 対象全体 n: 83 |           |           | 総合病院     |           |           | 産婦人科単科の病院・診療所 |           |           | 自宅       |          |          |
|------------|------------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|---------------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
|            | 全体 n: 83   | 初産婦 n: 37 | 経産婦 n: 46 | 全体 n: 26 | 初産婦 n: 10 | 経産婦 n: 16 | 全体 n: 56      | 初産婦 n: 27 | 経産婦 n: 29 | 全体 n: 1  | 初産婦 n: 0 | 経産婦 n: 1 |
| 医療者に対する評価  | 19(22.9)   | 8(21.6)   | 11(23.9)  | 7(26.9)  | 3(33.3)   | 4(25.0)   | 12(21.4)      | 5(18.5)   | 7(24.1)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   |
| 出産方法       | 17(20.5)   | 6(16.2)   | 11(23.9)  | 3(11.5)  | 0(0.0)    | 3(18.8)   | 13(23.2)      | 6(22.2)   | 7(24.1)   | 1(100.0) | 0(0.0)   | 1(100.0) |
| アクセス       | 16(19.3)   | 7(18.9)   | 9(19.6)   | 6(23.1)  | 1(10.0)   | 5(31.3)   | 10(17.9)      | 6(22.2)   | 4(13.8)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   |
| 設備・一般サービス  | 14(16.9)   | 6(16.2)   | 8(17.4)   | 1(3.8)   | 0(0.0)    | 1(6.3)    | 13(23.2)      | 6(22.2)   | 7(24.1)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   |
| 経験・他者の評価   | 10(12.0)   | 5(13.5)   | 5(10.9)   | 5(19.2)  | 3(33.3)   | 2(12.5)   | 5(8.9)        | 2(7.4)    | 3(10.3)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   |
| エクストラ・サービス | 0(0.0)     | 0(0.0)    | 0(0.0)    | 0(0.0)   | 0(0.0)    | 0(0.0)    | 0(0.0)        | 0(0.0)    | 0(0.0)    | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   |
| 育児援助       | 2(2.4)     | 1(2.7)    | 1(2.2)    | 1(3.8)   | 0(0.0)    | 1(6.3)    | 1(1.8)        | 1(3.7)    | 0(0.0)    | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   |
| 安全性        | 2(2.4)     | 1(2.7)    | 1(2.2)    | 1(3.8)   | 1(10.0)   | 0(0.0)    | 1(1.8)        | 0(0.0)    | 1(3.4)    | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   |
| 費用         | 3(3.6)     | 3(8.1)    | 0(0.0)    | 2(7.7)   | 2(20.0)   | 0(0.0)    | 1(1.8)        | 1(3.7)    | 0(0.0)    | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   |
| その他        | 0(0.0)     | 0(0.0)    | 0(0.0)    | 0(0.0)   | 0(0.0)    | 0(0.0)    | 0(0.0)        | 0(0.0)    | 0(0.0)    | 0(0.0)   | 0(0.0)   | 0(0.0)   |

表 8 医療者に対する意見・要望のカテゴリーと記述内容

有効回答 n : 46

| カテゴリー   | サブカテゴリー<br>n (回答率%)             | 記述内容 抜粋   |
|---------|---------------------------------|---|
| 医療者への要望 | 信頼関係<br>4(8.7)                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠中・出産・産後は少しの事でも気になり心配・不安になるため、気軽に相談できる関係を築ける方に見て頂きたい</li> <li>臨月はよく通院していたので看護師と仲良くなってよかった。フレンドリーな人だと何でも聞いてよと思う。</li> </ul>  |
|         | ケアの質<br>5(10.9)                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>出産日まで仕事をしていて、病院に行ったらすぐ入院、1時間30分の超スピード出産でしたが、その間（スタッフの一員である）友人をはじめ、スタッフの方に励まされ、オイルマッサージや私の好きなCDをかけてくれ、予定外に主人も立会い、自分で生んだという実感が持てた出産だった。</li> </ul>   |
|         | 医療者の姿勢<br>19(41.3)              | <ul style="list-style-type: none"> <li>医療者の優しい言葉に助けられた</li> <li>（前回出産時）助産師に「お産というのは苦しまなきゃいけない」と言われ、「初産は時間がかかるから夕飯を食べに行く」という扱いを受けた。実際その助産師がご飯を食べている間に生まれた。初めての出産でナーバスになっていることもあり、生まれた喜びと同じくらい嫌な気持ちを引きずった経験があった。</li> <li>生まれた時なぜか涙があふれてすごく感動した。助産婦さんが「お疲れ様、大変だったね、頑張ったね」と言ってくれた言葉が温かく有り難く感じた。</li> </ul> |
|         | 不安の軽減・精神的ケア<br>12(26.1)         | <ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠中は赤ちゃんのこと、出産のこと、本当に不安なことだらけ。看護師さんや先生には専門的立場から優しい言葉をかけてほしい。周りの人たちに何を言われようと、看護師さんや先生に言っていただく言葉が一番信頼できるし、安心できる。</li> <li>初産の時は本などで知識は得ていても、実際に分娩が始まると進まないお産にとっても不安になった。</li> <li>進行状況を言葉だけでなく、絵などで分かりやすく見せてくれると安心できるのではないかと思う。</li> </ul>                         |
|         | インフォームド・コンセント<br>9(19.6)        | <ul style="list-style-type: none"> <li>色々な治療など、ちゃんと説明してほしいと思った。説明を受けなかったため、出産するまで毎日不安の日々ばかりだった。</li> <li>お産をして、自分のされた会陰切開の内容（場所、何ヶ所）を詳しく説明してほしいと思った。</li> </ul>   |
|         | ケアシステム・体制<br>6(13.0)            | <ul style="list-style-type: none"> <li>待ち時間が長い</li> <li>健診で通院している間にもっと楽しみや、診療以外の交流の場があっても良かった</li> <li>薄いカーテンの横には私の前の患者さんがまさに今診察中で、話している内容が丸聞こえ。自分の番がやってきて診察台に下着を脱いで上がっている状態なのに、医師やスタッフの姿がなく、15分ほど何のフォローもなく放置された。</li> </ul>  |
|         | 育児不安の軽減<br>2(4.3)               | <ul style="list-style-type: none"> <li>産院って本当に産むための場所だなあと思う。育児に関しては、あまり期待しても頼りにならない....（中略）...母乳に関しては、母乳が出ているかどうかかもアドバイスしてくれないし、「足りなきゃミルク足せ」と言われるだけ。足りているかどうか不安なのに...</li> </ul>  |
| 出産のあり方  | 産婦の主体性の尊重<br>2(4.3)             | <ul style="list-style-type: none"> <li>お産する本人が二の次になってしまっているように思う。産むのは本人であって、決定権も利用者になければならない。利用者の意思が尊重されなければならないのに「産ませられた」感がある。</li> <li>一生のうちで何度もない経験。その人にとってすごく大切であることをもっと認識し、利用者自身が主体性をもってお産に臨めるのが当たり前であることが望ましい。</li> </ul>   |
|         | 医療化された出産への嫌悪<br>2(4.3)          | <ul style="list-style-type: none"> <li>個人病院、総合病院などは、リスクに対する安全性を重視するあまり、本来のあるべき姿が見えなくなっていると感じられる。必要以上の出産管理、不必要な処置（妊産婦・新生児）。</li> </ul>   |
|         | 設備・一般サービス改善への偏向に対する批判<br>3(6.5) | <ul style="list-style-type: none"> <li>見た目豪華な院内や食事のゴージャス出産がはやっていますが、それよりも医療者の質を向上することに力を入れてもらえると嬉しい。</li> </ul>   |

9名(19.6%)、「ケアシステム・体制」6名(13.0%)、「ケアの質」5名(10.9%)、「信頼関係」4名(8.7%)、「設備・一般サービス改善への偏向に対する批判」3名(6.5%)、「産婦の主体性の尊重」「育児不安の軽減」「医療介入化された出産への嫌悪」は各々2名(4.3%)であった。

## IV. 考 察

### 1. 対象の属性・背景および出産場所に関する特徴

対象は30~34歳の者が50名(54.3%)と最も多かった。出産年齢が高齢化していることがうかがわれる。出産場所に関しては、総合病院30名(32.6%)、産婦人科単科の病院・診療所61名(66.3%)、助産所は該当者なしという結果であった。O町は都市近郊のベッドタウンであり、交通の便が良く、出産施設の選択肢が豊富にあることが反映されている。助産所出産は全国的な統計でみても、全出産の1.1%に過ぎない<sup>3)</sup>。ここ数年増加傾向にあるが、O町周辺への普及率は低いといえる。

### 2. 出産場所の評価と出産の満足度

今回の出産場所の評価は、全体では「大変良かった」「まあまあ良かった」が合わせて約95%と、殆どの者が肯定的に評価していた。しかし、選択肢に「どちらともいえない」といような中間回答肢を設けていなかったため、これを設けていれば、「まあまあ良かった」と回答した者の何割かは中間肢を選択していた可能性は否定できない。また出産の満足度得点回答の分布をみると、8点以上をつけた者の割合は84.2%であったこと、次も同じ施設での出産を希望した者が全体で7割であったことも考え合わせると、真の肯定的評価者の割合は9割には及ばないとみるのが妥当かもしれない。

出産場所のタイプ別で比較すると、総合病院出産群では6割以上の回答が「まあまあ良かった」に集中していたが、産婦人科単科の病院・診療所出産群では「まあまあ良かった」と「大変良かった」がともに約46%で、「あまり良くなかった」と評価する者も約8%おり、評価が分散していることがわかった。出産の満足度得点においても、その最頻値は8点で、総合病院では8点と回答した者が5割と集中していたのに対し、産婦人科単科の病院・診療所出産群では3割と、やはり得点は分散していた。このことは平均値の相違にも反映され、総合病院出産群の平均得点は産婦人科単科の病院・診療所出産群よりも0.3点低くなっていた。

概して総合病院は産科異常や合併症をもつ妊産婦へ

の対応が可能であり、看護職者の中に助産師の資格保有者の占める割合が高く、妊産婦からの相談・指導に応じる体制が整っているというように、その特色はケアの内容面にあるといえる。他方個人病院や診療所では、施設ごとにその特色は多様である。総合病院に比べて、正常妊産婦を対象とすること、ならびに、大半がその設置主体は民間であることから、人的資源や人員配置、ケアシステム、医療機材の充実度や施設環境面の快適性の追求度などもさまざまであることが、評価のばらつきにつながっているものと思われる。

### 3. 今回の出産場所選択と選択要因

今回の出産場所選択理由として多かったものは、全体では、「経験・他者の評価」、「設備・一般サービス」の順であった。初産婦と経産婦を比較すると、やはり共に「設備・一般サービス」が最多であったが、「医療者の評価」は経産婦では18.0%で、初産婦の10.8%よりも7%余り高かった。経産婦では、以前の出産経験によって医療者の資質が重要との認識を初産婦以上に持っていると思える。実際に医療者の資質に関する正確な情報を得る手段は殆どなく、特に初産婦は友人・知人から伝聞したり、自身の当該施設での外来受診時の経験を基にして選択していると考えられる。また、全体で、「医療者に対する評価」を次回希望出産場所の最優先選択理由とした回答率(22.9%)が今回の出産場所選択理由の回答率(14.9%)よりも高かったことも同様に、今回の経験と照らし合わせて次回の出産場所を選択しようという意思の表れではないかと考える。

今回総合病院出産群で、その選択理由として「安全性」を選択した者の割合は10.3%と、他の出産場所に比べて高かった。一般に、産科的異常や合併症などがある場合は総合病院での出産が選択されるため、この結果は理にかなっている。注目したいことは、産婦人科単科の病院・診療所出産群の選択理由の最多のものが「設備・一般サービス」であったのに比し、総合病院出産群では「経験・他者の評価」であったことである。「設備・一般サービス」とは施設環境の快適さ、すなわち完全個室であることや部屋の美しさや広さ、食事内容の充実や家族の宿泊への対応などのことである。民間の個人病院や診療所では、ホテル並みの豪華な個室、魅力的な食事、お祝い品などを整えたり、美容マッサージなどを提供したりと、各施設さまざまな工夫を凝らしている。これらの情報は、インターネットや妊婦雑誌、タウン誌を介して、当該施設の宣伝目的で発信されており、妊婦はこのような情報に多く触れていることが考えられる。

他方、総合病院では、産婦人科単科の病院・診療所に比べて、施設環境面の快適性への期待に十分応えられる施設は少なく、むしろ、人的資源や高度な医療技術を基盤としたケア面での要求に応じていくことの方に特化している。したがって、産婦人科単科の病院・診療所が妊産婦獲得のために力を入れているのと同種類の情報発信は多くはなく、妊婦はむしろ、出産経験者から医療技術や出産に直結するケアの内容面での評価を聞いたり、ケアを受けた際の自分の経験に基づいて総合病院を選択していると捉えられる。

#### 4. 次回の出産場所選択

今回も同じ施設での出産を希望した者は全体で7割であった。今回の出産場所の評価では、既述のとおり、肯定的評価が大半であった。また、次回の出産希望場所の選択理由で最多であったものは「医療者に対する評価」であった。一般に、わが子の成長に伴う喜びとともに、出産時の嫌な記憶は相殺されたり、薄れていくと言われているが、この結果には、対象が出産後3~10ヵ月と、まだ出産時の記憶が鮮明な時期であることも関連していると考えられる。また、それだけに、医療者への意見・感想・要望の既述内容は正確かつ具体的で、医療者が真摯に受け止めるべき内容であるともいえよう。さらに、出産体験の肯定的受け止めを促す援助として、出産後数日以内に出産体験の振り返りをおこなうことが有効であることは広く知られているが、臨床現場での実施率は定かではない。担当者によってまちまちなのが実情ではないかと推察する。このような状況の中で、過去の出産体験が否定的なままの経産婦には、妊娠期において出産体験の振り返りの援助を行っていくことも重要であろう。

医療者への意見・感想・要望の自由記述回答内容には、資質の低い医療者とそのケア内容への批判と同時に、温かいケアを受けた経験に基づく感想や意見も記述されていた。これらのことを総合して考えると、今回の出産場所における医療者ならびに医療者から提供されたケアを判断の基盤として、次回も同じ出産場所を選択している者が多いと捉えられる。自由記述回答の中には、「医療者の優しい言葉に助けられた。」「…スタッフの方に励まされ、…自分で産んだという実感が持てた出産だった。」などの記述がみられている。また、一度、信頼関係が構築された医療者であれば、今回は不確かさから来る余計な不安は生じにくいことから、施設環境や食事やお祝い品などの一般的サービス面で少々の不満はあっても、それを相殺して、次も同じ施設で出産しようという意向につながっていると考えられる。

今日、総合病院では、産科的異常や母体合併症などを持つ妊産婦の割合が高く、医療介入度が高い分娩が多いことや、個人病院・診療所に比べて施設環境面での快適性は期待できないことから分娩数の減少を見ている。また、空床を埋める目的での他科との混合病棟化<sup>13)</sup>や産科医・助産師の人手不足<sup>14)</sup>、組織が大きいことによる柔軟性の欠如なども背景要因となって、妊産婦からの細かな要求への対応が益々不可能になり、それがまた分娩数の減少を招くという、悪循環を生じている。その一方で、産科の個人病院や診療所では、入院生活の快適性や利便性の向上を追求したり、出産方法についても妊婦雑誌で話題とされるような方法を積極的に取り入れるなど、経営的視点から妊産婦を惹きつける戦略が実施されている。

今回の出産施設に対して「大変良かった」と評価していた者の割合も「悪かった」と評価していた者の割合も、ともに総合病院出産群よりも産婦人科単科の病院・診療所出産群の方が高かった。このことから、産婦人科単科の病院・診療所には、看護・医療ケアの質と施設環境面の快適性の両方が充実している産科施設も多い反面、医療者の提供するケアの質よりも顧客を惹きつける表面上の戦略ばかりに力を注いでいる施設も存在するのではないかと考えられる。

今回産婦人科単科の病院・診療所で出産した者のうち2名が次回は助産所で、1名が自宅での出産を希望していた。また、今回自宅出産した者は1名いたが、次回も自宅を希望しており、その選択理由は今回も次回も「出産方法」であった。助産所は、産婦やその家族が助産師の常駐する場に出かけて自然出産に臨む場である。自宅出産は、出産の場が産婦の住居であることから、助産所よりもさらに産婦が主導権を握ることができる。この対象は、主体的な出産を遂行できる場として自宅での出産を選択し、それは満足のいくもので、次回も同じ理由で自宅での出産を希望していると捉えられる。

#### V. 結 語

産婦主体の、より自然な分娩への回帰指向が高まりつつあり、特に都市部では助産所での出産や自宅出産は少しずつではあるが増加傾向にある<sup>3)</sup>。さらに、院内に看護部からも医局からも独立した部門として院内助産所を設置している総合病院の報告<sup>15)</sup> <sup>16)</sup>もあり、注目を浴びている。長谷川らは、助産院での出産を選択した女性たちは、医療施設では許可されにくい自然な出産へのこだわりや医療優先な現状への不信感、助産師への信頼感を基に出産場所選択をしていたと報告し

ている<sup>11)</sup>。

2010年までの母子保健の国民運動計画である「健やか親子21」では主要課題の1つに「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」が掲げられ、これを受けて各分野でさまざまな取り組みがなされている。ここでいう「快適さ」の追求が、既述のような、表面上の施設・設備や一般サービスの側面に偏向することなく、ケアの質やそれを提供できるシステムの構築、温かいケアの姿勢をもつ医療者の育成とともになされることが肝要である。これらのことを通じて、人生における重要なイベントである出産が、心身ともに快適で幸福感に満たされるものとなることが、少産少子化を抑制する一助となると考える。

## 謝 辞

調査にご協力下さいましたO町の乳児の母親の皆様に厚く御礼申し上げます。また、お忙しい中ご助言、ご配慮いただきましたO町の保健師、ならびにスタッフの皆様に深く感謝申し上げます。

## 文 献

- 1) 太田操他：妊婦の生活の変化に関する調査－主体的な妊娠生活に焦点を当てて－，母性衛生 35 (3)，217，1994
- 2) 篁伊久美子他：妊婦の主体的な出産に関する意識調査－出産場所選択と希望分娩様式について－，母性衛生 43 (1)，178－187，2002
- 3) 厚生労働省：第11表 市郡別，出生の場所別，出生数及び割合（昭和25年～平成15年）。母子保健の主なる統計，45，2004
- 4) 浅見万里子：顧客満足度に影響する出産サービスの構成因子，日本助産学会誌 16 (1)，15－23，2002
- 5) 中野美佳他：出産体験の満足度に関連する要因について，母性衛生 44 (2)，307－314，2003
- 6) 江守陽子他：分娩体験の評価に関する分析－当事者の認知的評価からの分析－，母性衛生 36 (4)，470－477，1995
- 7) 村上明美：自己の出産に十分満足していると評価した女性が出産の際に抱いた思い，日本赤十字看護大学紀要 No. 15，23－33，2001
- 8) 上拾石栄子他：分娩時期における助産婦の援助を考える－産婦の満足度に対する質問－，母性衛生 40 (4)，512－521，1999
- 9) 常盤洋子：出産体験の自己評価に影響を及ぼす要因の検討－初産婦と経産婦の違い－，群馬保健学紀要 22，29－39，2001
- 10) 亀田幸枝他：妊婦が持つ出産イメージと出産に対する自信および出産体験の満足感との関連性，母性衛生 42 (1)，111－116，2001
- 11) 長谷川文他：出産する女性が満足できるお産：助産院の出産体験ノートからの分析，母性衛生 45 (4)，489－495，2005
- 12) 深見悦司：全国版安心して産める産院選びと産院ガイド，成美堂出版，2002
- 13) 日本助産師会：産科病棟における混合化の実態調査に関する報告書。平成15年度厚生労働省医療関係者養成確保対策費等補助金看護職員確保対策事業，2003
- 14) 厚生労働省：第83表 小児科，産婦人科医師数の推移（昭和30年～平成14年）。母子保健の主なる統計，121，2004
- 15) 石村朱美他：新しい病院出産 院内助産院“助産科”は，こうして生まれた・1 私たちの夢の実現に向けて，助産雑誌 60 (1)，66－71，2005
- 16) 高橋八重子他：看護部から独立した病院内助産院システム「助産師分娩科」の誕生まで，助産雑誌 58 (1)，52－55，2004

## 要 旨

出産場所選択要因と出産場所の評価, ならびに出産の満足度を明らかにし, 産科領域の医療者に求められることについて考察することを目的に, 乳児の母親92名を対象に無記名自記式質問紙調査を行い, 以下の結果を得た.

1. 今回の出産場所選択要因として最も優先されていたものは、「経験・他者の評価」であった.
2. 全体で9割以上が出産場所を肯定的に評価していた. 総合病院出産群に比して産婦人科単科の病院・診療所出産群では出産場所の評価にばらつきがみられた.
3. 出産満足度得点の平均値は助産所, 産婦人科単科の病院・診療所, 総合病院の順に高かった. この得点も総合病院出産群に比して産婦人科単科の病院・診療所群ではばらつきがみられた.
4. 全体で7割強の者が次回も同じ施設での出産を希望していた.
5. 次回の出産場所選択要因として最も優先されていたものは「医療者に対する評価」であった.
6. 産科領域の医療者に対する意見・感想・要望についての自由記述回答を分析した結果, 「信頼関係」「ケアの質」「医療者の姿勢」「不安の軽減・精神的ケア」「インフォームド・コンセント」「ケアシステム・体制」「産婦の主体性の尊重」「育児不安の軽減」と「設備・一般サービス改善への偏向に対する批判」「医療介入化された出産への嫌悪」の10サブカテゴリー, 「医療者への要望」と「出産のあり方」の2カテゴリーに分類された. 「医療者の姿勢」に関するものが最も多かった.

以上より, 産科領域の医療者が施設・設備や一般サービス面の向上のみに偏向することなく, ケアの質の向上やそれを提供するシステムの構築, 温かいケアの姿勢を持つ医療者の育成をも共に追及していくことの重要性が示唆された.

キーワード: 出産, 出産場所, 選択要因